

1 PLAN(目的・概要)

一般事務事業

政策名	安全	25年度事業・施策評価結果			責任者	建設部 工事課長
施策名	港の安全性・信頼性の向上	成果	コスト			
事務事業名	港湾施設等の耐震性の検証	延伸	維持	維持	連絡先	052-654-7930
目的	対象(誰・何を)	本組合が管理する耐震強化岸壁、防潮壁、堀川口防潮水門、中川口通船門			連携課	危機管理室、計画担当、事業担当
目的	意図(どうい う状態に したいか)	耐震性を検証し、港湾計画における大規模地震対策施設計画及び海岸保全基本計画の見直しの基礎資料とする。			事業 期間	平成24年度～26年 度
概要	本組合が管理する耐震強化岸壁、防潮壁、堀川口防潮水門、中川口通船門の現行での最新基準における耐震性の検証を行います。				根拠 法令等	
26年度の実施予定	堀川口防潮水門・中川口通船門の躯体について、見直しされた愛知県地域防災計画を踏まえた耐震補強策の検討を行います。				実施義務	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
					関連 シート	

2 DO(実施)

26年度に実施した 内容・結果	堀川口防潮水門・中川口通船門の躯体について、見直しされた愛知県地域防災計画を踏まえた耐震補強策の検討を実施しました。					
コスト	単位	24年度	25年度	26年度	合計(24年度～)	備考(費用の増減理由等)
事業費	千円	55,650	70,738	20,045	146,433	
人件費	千円	3,312	5,519	1,762	10,593	
合計	千円	58,962	76,257	21,807	157,026	

3 CHECK(検証)

指標名	24年度	25年度	26年度	最終目標	26	指標の説明・目標値の考え方	外部要因
事業進捗率(%) (進行管理型)	目標	-	-	100.0	100(累計)	名古屋港管理組合が管理する耐震強化岸壁、防潮壁、堀川口防潮水門、中川口通船門について、耐震性の検証作業を進めた割合。	
	実績	-	91.0	100.0			
	事業進捗状況(平成26年度)			○順調 やや遅れ ・遅れ			
目標の達成度に対する評価 (外部要因等を踏まえた)	順調に検証を進めることができました。						
必要性・有効性・効率性の検証	評価	評価に関する説明					
必要性	○	本組合が関与し、どうしてもやらなければならない事業か?					
有効性	○	事業規模や対象範囲は利用者ニーズや社会環境にあっているか?					
効率性	○	港湾施設等の耐震性の検証を行うことは、上位施策である「港の安全性・信頼性の向上」に貢献すると考えております。					
	○	期待どおりの成果が得られているか?					
	○	防災施設等の耐震性が把握でき、期待どおりの成果が得られました。					
	○	最小のコストとなっているか?					
	○	必要最小限のコストにて取り組みました。					

4 ACTION(取組)

施策評価結果	27年度以降の方向性		判断理由
	成果	コスト	
完了			
課題	27年度以降の取組		